



どうなんだより

平成28年 初春号

株式会社 なな実

～若者の新たな発想で自分の道を切り拓く1戸法人～



所在地：せたな町
代表者：高松 利彰
構成員：2名
雇用：常勤2名、パート20名
事業内容：畑作物の生産販売
(主力作物：ばれいしょ)

地域を担う

農業生産法人の横顔

平成22年5月、畑作物の生産と販売、農作業請負等の事業を独自展開するために法人設立に踏み切った。自分達が丹精込めて作った作物の良さをPRしながら販売活動を推進している。現在はコロッケ・フライドポテト等の加工品販売も行っている。

法人経営のメリット

(1)資金調達力や信用力が向上することで経営の自由度が増した (2)生産物販売に関する交渉時にも有効で販売網も広がった (3)経営者意識がこれまで以上に高まった。

法人運営のポイント

(1)経営や投資に関する決定権を持つことの自覚 (2)構成員や雇用者への円滑な意思伝達 (3)作業進捗状況の把握と計画 (4)働きやすい環境づくり。

これから法人化を目指す農業者へ一言

法人を設立運営することで責任や業務は増大するが、自分の経営ビジョンの実現に向けて有力な選択肢になると思う。

道南地区農業法人セミナーが開催されました

平成28年1月25日(北斗市)、26日(せたな町)で道南地区農業法人セミナーが開催されました。セミナーは、渡島・檜山の農業者を中心に、関係機関を含め両会場で合計146名の参加がありました。

講演は、北海道農業会議より「農業生産法人制度の改正について」と題し、制度改正や注意すべき点、道内各地の事例など多岐にわたる講演をしていただきました。また、愛別町の農業生産法人代表からは「法人設立のきっかけ、設立後の経営実績等について」と題し、地域の疲弊や問題により法人化へ取り組んだこと、経営に対する考え方、加工販売事業など実体験をもとにお話をいただきました。

農業者のみならず市町村、JA等の担当者も年々増え、道南地区でも農業法人化に対する関心は高くなっており、今後の農業経営について考えるよい機会となりました。



トピックス

集落営農や農業生産法人に関するお問い合わせは、最寄りのJAまたは普及センターまで。

編集事務局(渡島農業改良普及センター)

電話番号 0138-77-8242